

(15) 馬術競技

1 期 日 令和4年6月25日(土)～6月26日(日)

2 会 場 山梨県馬術競技場
〒408-0044 山梨県北杜市小淵沢町 10060-3 TEL:0551-36-3945 FAX:0551-36-2500
<主管>東京都馬術連盟 TEL03-6902-9444 FAX03-6902-9445
E-mail:tobaren@yk9.so-net.ne.jp

3 参加人数

区分	参加者		参加馬		
	1 都県	計	1 都県	計	
監督	1	7			
ホースマネージャー	1	7			
選手	個人	12	84	11	77
	団体少年	3	21	1	7
合計	17	119	12	84	

監督及びホースマネージャーは選手を兼ねることができる。

予備選手は種別ごとの各々2名登録することができる。予備馬は1都県5頭とする。

個人競技のうち、少なくとも1頭は国産馬でなければならない。

4 日程及び競技種目

- 6月24日(金) 15:00～ 監督会議
- 6月25日(土) 競技第1日目

第1競技 (1)	成年男子国体総合馬術競技 (馬場馬術)	国際馬術連盟制定の総合馬術競技・馬場馬術課目スリースターBを実施する。
第2競技	成年男子馬場馬術競技	国際馬術連盟制定のセントジョージ賞典馬場馬術課目2009を実施する
第3競技	成年女子馬場馬術競技	国際馬術連盟制定のセントジョージ賞典馬場馬術課目2009を実施する。
第4競技	少年馬場馬術競技	国際馬術連盟制定のジュニアライダー個人競技馬場馬術課目2009を実施する。
第5競技	少年団体障害飛越競技 第一回戦・準決勝	高さ1.10m以下、幅1.30m以下、10障害以内、速度350m/分、全長約500mとする。
第6競技	成年男子国体大障害飛越競技	高さ1.45m以下、幅1.60m以下、13障害以内、速度350m～400m/分、全長約500mとする。
第7競技	成年女子標準障害飛越競技	高さ1.25m以下、幅1.45m以下、13障害以内、速度350m/分、全長約500mとする。
第8競技	少年標準障害飛越競技	高さ1.20m以下、幅1.40m以下、13障害以内、速度350m/分、全長約500mとする。

6月26日(日) 競技第2日目

第9競技	成年男子トップスコア競技	高さ0.90～1.50m、幅1.80m以下、10障害以内、規定時間60秒とする。
第10競技	成年女子トップスコア競技	高さ0.90～1.40m、幅1.70m以下、10障害以内、規定時間60秒とする。
第11競技	少年トップスコア競技	高さ0.90～1.40m、幅1.70m以下、10障害以内、規定時間60秒とする。
第12競技	成年男子スピード&ハンディネス競技	高さ1.30m以下、幅1.50m以下、13障害以内、全長600m未満とする。

第 13 競技	少年スピード&ハンディネス競技	高さ 1.10m 以下、幅 1.30m 以下、13 障害以内、全長 600m 未満とする。
第 14 競技	成年女子二段階障害飛越競技	高さ 1.20m 以下、幅 1.40m 以下、速度 350m/分 全長約 600m、第 1 段階 7 障害、第 2 段階 5 障害以内とする。
第 15 競技	少年二段階障害飛越競技	高さ 1.20m 以下、幅 1.40m 以下、速度 350m/分 全長約 600m、第 1 段階 7 障害、第 2 段階 5 障害以内とする。
第 1 競技 (2)	成年男子国体総合馬術競技 (障害飛越)	高さ 1.20m 以下、幅 1.40m 以下、障害数 10~11 個/最大飛越数 14 以内、速度 350m/分、全長約 600m 以内とする。

5 人馬の参加資格・所属都県及び選手の年齢基準

第 77 回国民体育大会関東ブロック大会総則 8 に定めるもののほか、次による。

- (1) 少年種別には中学 3 年生を含む平成 20 年(2008 年)4 月 1 日以前に生まれた者から平成 16 年(2004 年)4 月 2 日以降に生まれた者が参加できる。
- (2) 選手は、ブロック大会の参加申込み時点で、日本馬術連盟の会員で騎乗資格 B 級以上の取得者であること。ただし、少年種別に参加する選手で、騎乗資格 B 級以上の資格がない場合は、日本馬術連盟の会員であることのほか参加都県の馬術連盟会長が発行する技能証明書を日本馬術連盟会長に提出すること。
- (3) 参加馬は、日本馬術連盟の登録馬であること。
- (4) 馬匹は、参加都県を重複して出場する事はできない。ただし、少年団体障害飛越競技の対戦相手チームに提供する馬匹を除く。
- (5) 本大会に出場する選手はブロック大会に必ず登録していること。予備登録の選手も同様である。
- (6) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認馬術コーチ 1、公認馬術コーチ 3 のいずれかの資格を有する者であること。

6 競技上の規程及び方法

- (1) この競技会は、日本馬術連盟競技会規程最新版及び国体馬術競技規最新版を適用する。
- (2) 申込み後の人馬の変更は、登録人馬内の変更に限り、監督会議までに文書で申請すること。その出場の可否は監督会議で決定する。追加申込みは認めない。
- (3) 少年団体障害飛越競技は 2 名戦とし、参加都県が 1 頭馬匹を用意し、その前段に乗ることとする。(選手は出場枠内で 3 名まで登録することができる。)
〔順位決定方法〕
少年団体障害飛越競技の 1~4 位は、準決勝の対戦結果及び自馬の成績(減点及び所要時間)で決定する。5~7 位は、一回戦の自馬の成績(減点及び所要時間)で決定する。
- (4) 少年団体障害飛越競技に提供する馬匹を変更する場合は、速やかに競技本部に届け出ること。
- (5) 個人競技では、全種目を通じて選手の出場は 1 人 2 種目までとする。ただし、少年団体障害飛越競技は枠外とする。
- (6) 1 つの種目への 1 都県の出場は、1 回限りとする。
- (7) 全種目を通じての馬の出場は、1 頭 6 種目までとする。
- (8) 各競技に参加する選手の服装は JEF 規程種目別の規程による。なお、選手は所属する都県名を服装に明記すること。違反したときは出場させない。
- (9) 欠場する場合は、それが判明した時点で速やかに競技本部に届け出ること。

7 参加上の注意

- (1) 個人競技の出場順序は、理事会が抽選によって決定する。
- (2) 少年団体障害飛越競技の組み合わせは、理事会が抽選によって決定する。
- (3) 少年団体障害飛越競技に出場する都県は、使用馬匹 1 頭を提供するものとする。
- (4) 馬匹の入退厩は、追って詳細事項を連絡する。

(5) 入厩審査基準は、以下のとおりである。

ア 馬インフルエンザ予防注射

- ① 基礎接種として初回ワクチン接種を実施してから 21 日以上 2 ヶ月以内に 2 回目のワクチン接種を行うこと。補強接種については基礎接種(2 回目)から 7 ヶ月以内に最初の補強接種を行い、それ以降は 1 年以内に継続的に補強接種を受けていること。
- ② 競技場へ入厩する 6 ヶ月+21 日以内に補強接種または基礎接種(2 回目)を受けていること。
- ③ 競技場へ入厩する前 1 週間以内のワクチン接種は接種暦として認められない。

- (6) 所定の入厩届けを、2 週間前までに東京都馬術連盟へ提出すること。
- (7) 馬運車の消毒証明書を入厩時に提出すること。
- (8) 馬糧等の支給斡旋はしない。
- (9) 輸送費は補助しない。
- (10) ホースマネージャーの宿舎は会場に準備する。
- (11) 参加人馬の事故に対しては、応急手当はするが、主催者はその責任を負わない。
- (12) メディカルカードは、各自で記載し携帯すること。

8 参加・宿泊申し込みについて

第 77 回国民体育大会関東ブロック大会の宿泊要項を熟読のうえ、参加申込書、参加者負担金及び宿泊申込書等を定められた期限までに指定された Web ページ及び場所へ提出すること。なお、到着しない場合は理由のいかんを問わず、大会への参加を認めない。

9 総合成績決定方法

- (1) 各種目に次のとおり競技得点をあたえる。ただし、少年団体障害飛越競技は得点に含まれない。また、同順位の場合はその競技得点を共有し、次の順位を欠位とする。
1 位=7 点 2 位=6 点 3 位=5 点 4 位=4 点 5 位=3 点 6 位=2 点 7 位=1 点
- (2) 総合成績は、各都県の競技得点を合計し、その多い都県順に第 1 位から第 7 位までを決める。ただし同点の場合は、当該都県の 1 位から 7 位の成績を順次比較し、上位の順位を多く持っている都県を上位とする。それでも決定しない場合は抽選とする。

10 表彰

- (1) 総合成績第 1 位から第 3 位までの都県に表彰状を授与する。
- (2) 各種目の第 1 位から第 3 位までに、メダル・リボンを授与する。

11 関東ブロック大会から本大会に出場できる人馬及び競技種目数

監督	1 名×7 都県	7 名
ホースマネージャー	1 名×7 都県	7 名
選手	成男：12 名+成女：10 名+少年：11 名+団体：2 名	35 名
馬匹	個人：22 頭、団体：2 頭	24 頭
種目数	個人：76 種目、団体 2 種目	78 種目

種目数内訳

成年男子	障害	6 種目	4 都県	24 種目
	馬場	2 種目	2 都県	4 種目
成年女子	障害	4 種目	4 都県	16 種目
	馬場	2 種目	2 都県	4 種目
少年	障害	6 種目	4 都県	24 種目
	馬場	2 種目	2 都県	4 種目
少年団体	障害	1 種目	2 都県	2 種目
計				78 種目

本大会参加人馬数は、1 都県最大 8 頭 12 名(監督 1 名・HM1 名・選手 10 名)とし、最小限 1 頭 3 名(監督 1 名・HM 1 名・選手 1 名)とする。ただし、個人競技に 5 頭以上エントリーする場合は、内国産馬を 1 頭以上含めること。なお、参加都県は、この他に 3 名 3 頭を予備人馬として登録することができる。(注) 選手実数は、監督、ホースマネージャーが選手を兼ねる場合に割当表の選手数から増える場合がある。

12 本大会出場の決定法

総合成績上位より、次の表の範囲内でその実数を割当てる。

- (1) 本ブロック大会で次の成績を上げた者には優先権を与える。
 - ・馬場馬術種目：優勝都県。同一人馬で出場する場合は自由演技課目も優先とする。
 - ・大障害飛越競技・標準障害飛越競技種目：優勝及び2位の都県。
- (2) リレー競技は、総合成績3位以内に入った都県は必ず参加すること。
- (3) ブロック大会の少年団体障害飛越競技において、第1位の都県には選手2名と馬1頭、第2位の都県には馬1頭の参加を割り当てる。
- (4) 少年団体障害飛越競技に割り当てられた枠で出場する選手及び馬は、個人競技にも参加することができる。
- (5) 本大会参加種目の選択については、総合成績上位より割り当てのシード数を除く実数の半数(小数点以下繰上げ)を選択した後、残りをまた上位より選択する。ただし、1位・2位の都県は最初に全てを選択する。
(例) 3位の都県がシード数3の場合： $(13-3) \times 1/2 \cdot 1$ 回目5、2回目5となる。
- (6) 各都県は、上記により獲得した実数のとおり「競技上の規程及び方法」に則して各種目に参加する人馬を決定する。
- (7) 第77回栃木国体関東ブロック出場基準

順位	都県名	馬匹数	種目数	選手数	選手数内訳		
					成年男子	成年女子	少年
1		7頭	22種目	10名	4名	3名	3名
2		5頭	18種目	8名	3名	3名	2名
3		4頭	14種目	6名	2名	2名	2名
4		2頭	8種目	3名	1名	1名	1名
5		2頭	7種目	3名	1名	1名	1名
6		1頭	4種目	2名	1名	-	1名
7		1頭	3種目	1名	-	-	1名
							-
合計		22頭	76種目	33名	12名	10名	11名

少年団体障害飛越競技（上記出場基準に付加）

順位	都県名	馬匹数	種目数	選手数	選手数内訳		
					成年男子	成年女子	少年
1		1頭	1種目	2名	対象外	対象外	2名
2		1頭	1種目	—	対象外	対象外	—

[付記]以上のとおり決定するも、監督会議において一部訂正することもある。

13 その他

- (1) 監督会議 6月24日（金）午後3時
- (2) 表彰式 6月26日（日）競技終了後
- (3) 代表選考会 6月26日（日）表彰式終了後